



真夏の気温を2℃下げよう!

打ち水大作戦!!

今年で8回目となる夏恒例の環境活動「打ち水大作戦」活動の始まりから、打ち水の仕方まで紹介します!



「打ち水大作戦」は、2003年夏、ヒートアイランド現象に対する打ち水の効果を検証してみようという壮大な社会実験として東京で行われたのが始まり。実際に2℃以上気温が下がるという結果が得られました。その後、みんながいつせいに打ち水をして、真夏の気温を2℃下げよう!という活動は全国へ広まり、今や海外にまで拡大、目的も「地球温暖化対策」へとスケールアップしています。

「打ち水大作戦」は誰でもどこでも参加できる活動です。例えば家族と庭先やベランダで、ご近所さんや職場の人と道路や公園で、大勢の人と各地で催されるイベント会場。大人も子どもも入り混じって水を打ち、夏の涼を感じながら会話を楽しむのもいいものです。今年の夏は、「打ち水しよう」と周りの人を誘ってみてはいかがでしょうか。

「打ち水」の効果

- 1 真夏の気温を下げる
- 2 ヒートアイランド対策に効果をあげる
- 3 真夏の電力エネルギーの節約になる

打ち水の作法

大原則

水道水の使用はご法度!

「二次利用水」を使いましょう!

ご注意

- 通行人のじゃまにならないように
- 水たまりができるほどまきすぎないように
- マンホールなど滑りやすいところは避けましょう

い 水を入れる容器を家にあるものから用意すること



ろ 水は「二次利用水」を使用すること



水道の水は使わない!

二次利用水とは?

- お風呂の残り湯
- シャワーが温水になるまでの水
- 二層式洗濯機のすすぎ水
- エアコンの室外機から出る水
- 雨水
- 台所のすすぎの残り水
- 米のとぎ汁
- 雑巾がけのすすぎ水
- 子供用プールの残り水

は 水を打つのに、ひしゃくだけにこだわらないこと



ひしゃくがなくても、牛やびょうろ、バットボトルで打つのもよし!

帽子を着用するなど、日射に気をつけること

に 水を打つのに、路面だけにこだわらないこと

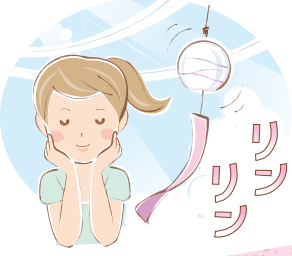


路面だけでなく、屋上やベランダ「壁打ち」でも効果あり!

POINT

- 打ち水は、朝夕の涼しい時間に
- 日向よりも、日陰や風通しのいい場所に
- できる限り、大勢で広範囲に

ほ 打ち水により得られた涼風を肌で感じること
気持ちよかったら、毎日続けること



打ち水でなぜ気温が下がるの?

アスファルト・コンクリートなどの地面が熱せられて気温が上がる



地面に水をまけば...



打たれた水は地面から熱を奪って蒸発するため、周辺が涼しくなる

打ち水大作戦とは?

決められた日時に、残り湯などの二次利用水を使って、みんなでいつせいに打ち水をする環境活動。

毎年、旧暦の大暑から処暑まで約1カ月間開催され、期間中は毎日正午にいつせいに打ち水をします。開幕と閉幕には、全国各地でイベントが催されます。

詳しくは「打ち水大作戦」HPへ
<http://www.uchinizu.jp/>

江戸時代から伝わる「打ち水」

「打ち水」は江戸時代には庶民の暮らしに根付いていたと言われ、昭和中期頃までは街中でもまだ見かけることが多かったのだそう。「夏場の涼気をとる」「砂埃がたたないようにする」などの生活の知恵以外にも、お客様を気持ちよくお迎えするという「もてなしの心」を意味する習慣でもあったようです。